令和６年度　市田小学校グランドデザイン

学校教育目標

〇生き生きと学び　〇力いっぱい活動し　〇だれとでも仲良く

知　体　徳

＜目指す児童像＞

（知）自分を表現できる子　（体）自信にあふれる子　（徳）自分を認められる子

「できた・分かった」の
つぶやきがでる授業に

誰かのための
「一歩」をふみ出す子に

「ちがい」を分かって
助け合える子に

〇大里っ子4つのスタンダードの徹底　90%
〇学習内容の明確な授業「何をできるようにさせるのか」が明確で「どのように学ばせるか」を増やし「振り返り」を大切にする授業
〇英語「ラウンドシステム」の考え方で「かまう」授業実践　100%
〇ICTと活字のよさのバランスを図った授業
〇「新熊谷プロジェクト」（総合的な学習の時間を主体とする）による汎用的能力の育成
〇学習形態の工夫や話合い活動を取り入れた授業・学習進度に応じた個別の指導の充実
〇積極的な児童のつぶやきのある教科指導

〇運動量のある、汗をかく体育授業の実施。
業間運動の工夫・充実・新体力テスト80%
〇保健指導・保健委員会を主体とした保健活動
〇性の多様性に関する指導の充実
〇安心・安全な学習環境の充実
〇防災教育の充実（地域防災の担い手として）
〇栄養教諭による食育、給食指導（全学年）
〇そよ風（5月）・青空（10月）給食の実施

〇すべての児童に応じた「支援教育」の理解、推進を根とした学級経営の推進
〇児童一人一人の個性に応じた生徒指導
〇「人権教育」の充実と「自尊感情」の向上
〇考え・議論する「道徳」の積み重ねと生活で「見える化」
〇代表委員会を主体とした「いじめ撲滅宣言」「いじめ」の未然防止、早期発見、早期対応早期解決、見届け、見守りの継続
〇不登校の未然防止
〇『4つの実践』 特に「朝ごはん」100%

新熊谷プロジェクトの推進　～学ぶたのしさにあふれ、児童や教職員一人一人が多様に輝く「ありがとう」いっぱいの学校～

大里中・吉見小・市田小

市田小　4つのスタンダード

＝あたりまえのことが あたりまえにできる！＝

◆ あいさつを大きな声でします。
「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」
◆ 話を最後までしずかに聞きます。
◆ 正しい姿勢で学習します。『グー・ペタ・ピン・サッ』
◆ 家庭学習を毎日します。『学年×10分』

家庭

〇ＰＴＡ活動
〇授業参観
〇お便り・HP
〇学校評価

地域

〇　学校応援団
〇　ボランティアパトロール
〇　校区連絡会

学校

【学校研究課題】令和６年度　算数科

学力の基礎基本を身に付け、ものごとを解釈する力を高める学習指導

＜目指す教師像＞

個性を大事に「かまう」教師
学び続け児童の手本となる教職員

きれいな学校
（ことば　こころ　環境）

＜職員・生徒指導心得＞
(1) 誰にでもわかる授業を工夫し確かな学力をつけることに全力で取り組みます
(2) みんなで徹底してかまい、笑顔いっぱい褒めて伸ばします
(3) いざという時、迅速に全員で動きます。一秒でも早くプロの手に渡します
(4) 潤いのある環境づくりに努めます
(5) 家庭と仕事のバランスを意識します

各学年の児童数　R6.5.1現在

学年	1-1	2-1	3-1	4-1	5-1	6-1	ひまわり1	ひばり1	合計
児童数	22	28	20	26	32	24	4	2	152
学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	8